



つながる白根



校長 海老澤 孝代

今年度も地域や関係団体の方、様々な方々が子どもたちの教育活動ためにご協力くださいました。先日も個別支援級の学級園の野菜栽培に協力して下さっている方が来校され、収穫したほうれんそうの調理を見守ってくださいました。一緒に会食し、子どもたちは収穫の喜びや感謝の気持ちを伝えることができました。このように一緒に取り組んでくださることで、子どもたちの学びが広がったり深まったりして、それが自信や意欲の高まりにつながっていくのだということに改めて気付かされます。新型コロナウイルス感染症対策として、お互いの距離を取り個の活動を重視せざるを得ない数年を経験しましたが、やはり多くの関わりやつながりは、子どもの成長には欠かせない大切なものだと再認識しています。

たてわり班活動やペア学年の異学年交流での関わりでも、多くの学びが見られました。集会委員会では「1年間も終わりに近いから、たてわり班で協力できるものがいい。」「全校みんなで一体感をもって一緒に楽しめるものがいい。」と6年生が集会を企画し、自分たちで進めていこうとする姿が見られました。また、卒業を祝い6年生に楽しんでもらおうと、3月5日の『たてわりお別れ会』を5年生が中心となって進めています。どのような会になるのかとても楽しみです。

さて、3月19日は卒業証書授与式。なりたい自分を目指し、自分を見つめ成長させてきた6年生117名に卒業証書を手渡します。総合的な学習では、白根のまちの良いところを知らせて盛り上げたいとプロムナードの環境整備やお店のポスター作り、学校前から旭台公園に続く道の名称づくりなど、自分たちでできることに取り組んできました。ここでも地域について調査したりインタビューしたり、関わりからの学びを発信していました。羽ばたきの会の招待状をもってきた6年生は、「学校目標ができて、それに向かって自分たちで考えて頑張ることができました。違った考えを出し合い、それを認め合って、みんな成長してきました。」と話してくれました。白根小学校で身に付けた力を中学校生活で十分発揮し活躍していくことを願っています。

これからの未来を創っていく子どもたちの成長に、今後も変わらずに温かいご支援ご協力をお願いいたします。